



福井だより

ふくいからみらいへ

校長 吉田 明弘

給食週間の作品を紹介します！

学校給食は明治22年(1910年)から始まりました。その後、昭和25年(1950年)から、1/24~1/30を全国学校給食週間として、学校給食の意義や役割について考える機会としています。

茨木市では、本年度は1/20(月)~1/24(金)を学校給食週間として、さまざまな取り組みを行っています。

福井小学校では、学年ごとに次のことにチャレンジしています。

1年…大型カルタ 2年・3年…ポスター 4年…標語 5年…詩 6年…作文



(詩)

給食

五年

なぜ給食はおいしいのか
みんながんばって勉強しているから
なぜ給食はおいしいのか
調理員さんがていねいに作ってくれるから
なぜ給食はおいしいのか
みんなで楽しく食べているから

いただきます

五年

いただきます
作った人へありがとう
なくなる命へありがとう
いただきます
色んな人へありがとう
いただきます
すべての人がいうことは
ごちそうさま
あしたのきょうしよくなんだろうな

(標語)

四年

ありがとう
伝えたかった
この言葉
給食は
みんなを笑顔に
するまほう
ありがとう
感謝の気持ちで
いただきます
楽しみだ
今日のこんだて
なんだろうな

(詩)

うけがれていくのうち
五年

私たちは毎日給食を食べる。
それは、命をいただいている。
牛の命
ぶたの命
魚の命
全ては私たちと同じ
生き物の命
何も罪のない生き物が
次から次へと命をおとす。
その命は
私たちへ受けつがれていく
生き物の命を
「いただきます。」

まほうのことは

五年

私たちはまほうの言葉を知っている
「いただきます」は
命をいただくという事
これを聞いた命たちは
「食べていいよ」と言ってくれる
私たちはまほうの言葉を知っている
「ごちそうさま」は
ごちそうを
いただきましたという事
感謝して食べると命たちは
「おいしく食べてくれてありがとう」
と思っているかもしれない。
私たちはまほうの言葉を知っている
まほうの言葉がなければ
命たちはおちこむ
だからあたりまえでも
大切にしていこう

給食

六年

一年生のころから給食が嫌いでした。苦手なものばかりが出てきて、低学年のころは残してばかりいました。

学年が上がるごとに苦手な給食はじょじょに減っていききました。低学年のころ苦手だった「かぼちゃの物」も今では大好きな給食です。

今でもやっぱり苦手な給食はありますが、六年生の一年はすぐ終わってしまいそうなので、一つ一つの給食を味わい、調理員さんに感謝して食べようと思っています。

中学校からはお弁当なので、給食を良い思い出で卒業したいです。

いつもの給食

六年

6年間、学校に来て毎日毎日食べていた給食。なんとなく毎日食べていたけど、よく考えてみたら、毎朝調理員さんは約300人分の給食を作っている。でも私たちは調理員さんのことを全然知らない。

調理員さんは毎日朝から給食を作っている。がんばって作った給食をみんな、牛乳を残したり、きらいなものは減らしたりしている。それがいつもの給食。私もそうだ。きらいなものを減らしている。それが当たり前になってきているのは調理員さんも悲しいと思う。だからいつもの給食を変えよう。減らすことを少なくして、いただきます、ごちそうさまを言うこと。それがいつもの給食になったら調理員さんもわたしもうれしい。

いつもの給食を変えるために少しずつ意識しよう。

給食カレー

六年

調理員さんへ。

ぼくはカレーが好きです。給食でたまにしか出ないカレーが好きです。調理員さんが作る給食のカレーは、二日目のおいしいカレーです。カレーは二日目がおいしいとよく聞きます。調理員さんは一日で二日目みたいにとろっとしたルーでおいしく作り、ぐがやわらかいので給食のカレー一番おいしいです。

前にカレー屋さんにご家族で行った時、その店のノーマルのカレーをたのんで食べてみたら、しゃばしゃばであまりおいしくなかったです。でも味は星三つぐらいのおいしさでした。

そう思うと調理員さんの給食のカレーは世界一だと思いました。これから給食を作ってください。ぼくは六年なのでもう少ししかカレーが食べられないので悲しいです。

ちょうりの員さんへ

六年

わたしは、ふだん外食が多いのでよいようなバランスがあまりよくないときがたまにあります。

でもきゅう食を食べることでいつも元気にすごせています。

とてもありがたいです。きゅう食のおかげでしんどい6時間目もやるきがでます。にが手な野菜も少し食べれるようになってうれしかったです。

わたしが一番好きなきゅう食はパンです。きゅう食のパンすっごくもちもちふわふわな食かんですごくおいしいです。きゅう食は今年が最後の年で少しさびしい気持ちです。

ちょうり員さんわたしたちのためにあついなか、さむいなかきゅう食を作ってくれてありがとうございます。

給食のありがとう

六年

私はこの6年間、毎日のように給食を食べてきました。一度も急に給食がでなかったことはありません。毎日、心をこめて調理員さんが給食を作ってくれていることに感謝の気持ちでいっぱいです。調理員さんありがとうございました。

私の弟は食物アレルギーがあり、給食を一度も食べたことがありません。私は、アレルギーをがんばって治して、おいしい給食を食べてほしいと思っています。弟には、給食のありがとうさやみんなど同じ物をいっしょに食べるこのうれしさをしっかりほしいと思います。私にとって給食とは、笑顔をくれる物。元気になるものだと思っています。私はこの6年間で毎日、すばらしい宝物をもらっていました。

学校の給食が食べられなくなるのはさみしくなるけれど、給食でおしえてもらったことをわすれずに中学校に行きたいと思っています。

給食員さんへの感謝の言葉

六年

一年生の春から給食を初めて食べてからもう六年過ぎました。いつもありがとうございます。今思い出すと(めっちゃくちゃ食べてきたなあ。)と思っています。その中で一番おいしかったなあと思った食べ物があります。

それは、カレーライスです。いつも給食でカレーが出たときは、いつもおかわりをしていました。どうしたらこの味をだせるんだっていうくらいうまかったなあと思います。

本当に今までおいしいおいしい給食を作ってくれてありがとうございます。卒業まで後少しですけれど、本当にありがとうございます。



茨木市立福井小学校

令和2年(2020年)2月7日

福井だより

ふくいからみらいへ

校長 吉田 明弘

給食週間の作品を紹介します！

学校給食は明治22年(1910年)から始まりました。その後、昭和25年(1950年)から、1/24~1/30を全国学校給食週間として、学校給食の意義や役割について考える機会としています。

茨木市では、本年度は1/20(月)~1/24(金)を学校給食週間として、さまざまな取り組みを行っています。

福井小学校では、学年ごとに次のことにチャレンジしています。

1年…大型カルタ 2年・3年…ポスター 4年…標語 5年…詩 6年…作文



(詩)

給食

五年

なぜ給食はおいしいのか
みんなががんばって勉強しているから
なぜ給食はおいしいのか
調理員さんがいてねいに作ってくれるから
なぜ給食はおいしいのか
みんなで楽しく食べているから

いただきます

五年

いただきます
作った人にありがとう
なくなる命にありがとう

いただきます
色んな人にありがとう

いただきます

すべての人がいうことは

ごちそうさま

あしたのきょうしゅくなんだろうな

(標語)

四年

ありがとう
伝えたかった
この言葉

給食は
みんなを笑顔に
するまほう

ありがとう
感謝の気持ちで
いただきます

楽しみだ
今日のこんだて
なんだろうな

(詩)

五年

うけがれていくのうち
私たちは毎日給食を食べる。
それは、命をいただいている。
牛の命
ぶたの命
魚の命
全ては私たちと同じ
生き物の命
何も罪のない生き物が
次から次へと命をおとす。
その命は
私たちへ受けつがれていく
生き物の命を

「いただきます。」

まほうのことは

五年

私たちはまほうの言葉を知っている
「いただきます」は
命をいただくという事
これを聞いた命たちは
「食べていいよ」と言ってくれる

私たちはまほうの言葉を知っている
「ごちそうさま」は
ごちそうを

いただきましたという事
感謝して食べると命たちは
「おいしく食べてくれてありがとう」と
思っているかもしれない。

私たちはまほうの言葉を知っている
まほうの言葉がなければ
命たちはおちこむ
だからあたりまえでも
大切にしていこう

裏面では6年生の作文を紹介
します。

給食

六年

一年生のころから給食が嫌いでした。苦手なものばかりが出てきて、低学年のころは残してばかりいました。

学年が上がるごとに苦手な給食はじょじょに減っていききました。低学年のころ苦手だった「かぼちゃの物」も今では大好きな給食です。

今でもやっぱり苦手な給食はありますが、六年生の一年はすぐ終わってしまいそうなので、一つ一つの給食を味わい、調理員さんに感謝して食べようと思っています。

中学校からはお弁当なので、給食を良い思い出で卒業したいです。

いつもの給食

六年

6年間、学校に来て毎日毎日食べていた給食。なんとなく毎日食べ続けていたけど、よく考えてみたら、毎朝調理員さんは約3000人分の給食を作っている。でも私たちは調理員さんのことを全然知らない。

調理員さんは毎日朝から給食を作っている。がんばって作った給食をみんな、牛乳を残したり、きらいなものは減らしたりしている。それがいつもの給食。私もそうだ。きらいなものを減らしている。それが当たり前になってきているのは調理員さんも悲しいと思う。だからいつもの給食を変えよう。減らすことを少なくして、いただきます、ごちそうさまを言うこと。それがいつもの給食になったら調理員さんもわたしもうれしい。

いつもの給食を変えるために少しずつ意識してみよう。

給食カレー

六年

調理員さんへ。

ぼくはカレーが好きです。給食でたまにしか出ないカレーが好きです。調理員さんが作る給食のカレーは、二日目のおいしいカレーです。カレーは二日目がおいしいとよく聞きます。調理員さんは一日で二日目みたいにとろっとしたルーでおいしく作り、ぐがやわらかいので給食のカレーが一番おいしいです。

前にカレー屋さんに家ぞくで行った時、その店のノーマルのカレーをたのんで食べてみたら、しゃばしゃばであまりおいしくなかったです。でも味は星三つぐらいのおいしさでした。

そう思うと調理員さんの給食のカレーは世界一だと思いました。「これからも給食を作ってください。ぼくは六年なのでもう少ししかカレーが食べれないので悲しいです。」

ちゅうりっぷさんへ

六年

わたしは、ふだん外食が多いのでえいよりのバランスがありません。よくないときがたまにあります。でもきゅう食を食べることでいつも元気にすごしています。

とてもありがたいです。きゅう食のおかげでしんどい6時間もやるができます。にが手な野菜も少し食べれるようになってうれしかったです。

わたしが一番好きなきゅう食はパンです。きゅう食のパンすごくもちもちふわふわな食かんです。ごくおいしいです。

きゅう食は今年が最後なので少しさびしい気持ちです。

ちゅうりっぷさんわたしたちのためにあついなか、さむいなかきゅう食を作ってくれてありがとうございます。

かんしゃしています。

給食のありがとう

六年

私はこの6年間、毎日のように給食を食べてきました。一度も急に給食がでなかったことはありません。毎日、心をこめて調理員さんが給食を作ってくれていることに感謝の気持ちでいっぱいです。調理員さんありがとう。

私の弟は食物アレルギーがあり、給食を一度も食べたことがありません。私は、アレルギーをがんばって治して、おいしい給食を食べてほしいと思っています。弟には、給食のありがとうさやみんなと同じ物をいっしょに食べるこのうれしさをしっかりとほしいと思います。私にとって給食とは、笑顔をくれる物。元気になれるものだと思います。私はこの6年間で毎日、すばらしい宝物をもらっていました。

学校の給食が食べられなくなるのはさみしくなるけれど、給食でおしえてもらったことをわすれずに中学校に行きたいと思っています。

給食員さんへの感謝の言葉

六年

一年生の春から給食を初めて食べてからもう六年過ぎました。いつもありがとうございます。今思い出すとめっちゃくちゃ食べてきたなあ。と思っています。その中で一番おいしかったなあと思った食べ物があります。

それは、カレーライスです。いつも給食でカレーが出たときは、いつもおかわりをしていました。どうしたらこの味をだせるんだっていうくらいうまかったなあと思います。

本当に今までおいしいおいしい給食を作ってくれてありがとうございます。卒業まで後少しですが、本当にありがとうございます。



福井だより

ふくいからみらいへ

校長 吉田 明弘

給食週間の作品を紹介します！

学校給食は明治22年(1910年)から始まりました。その後、昭和25年(1950年)から、1/24~1/30を全国学校給食週間として、学校給食の意義や役割について考える機会としています。

茨木市では、本年度は1/20(月)~1/24(金)を学校給食週間として、さまざまな取り組みを行っています。

福井小学校では、学年ごとに次のことにチャレンジしています。

1年…大型カルタ 2年・3年…ポスター 4年…標語 5年…詩 6年…作文



(詩)

給食

五年

なぜ給食はおいしいのか
みんなががんばって勉強しているから
なぜ給食はおいしいのか
調理員さんがいてねいに作ってくれるから
なぜ給食はおいしいのか
みんなで楽しく食べているから

いただきます

五年

いただきます
作った人にありがとう
なくなる命にありがとう

いただきます
色んな人にありがとう

いただきます

すべての人がいうことは
ごちそうさま

あしたのきょうしよくなんだろーな

(標語)

四年

ありがとう
伝えたかった
この言葉

給食は
みんなを笑顔に
するまほう

ありがとう
感謝の気持ちで
いただきます

楽しみだ
今日のこんだて
なんだろーな

(詩)

五年

うけがれていくのうち
私たちは毎日給食を食べる。
それは、命をいただいている。
牛の命
ぶたの命
魚の命
全ては私たちと同じ
生き物の命
何も罪のない生き物が
次から次へと命をおとす。
その命は
私たちへ受けつがれていく
生き物の命を

「いただきます。」

まほうのことは

五年

私たちはまほうの言葉を知っている
「いただきます」は
命をいただくという事
これを聞いた命たちは
「食べていいよ」と言ってくれる

私たちはまほうの言葉を知っている
「ごちそうさま」は
ごちそうを
いただきましたという事

感謝して食べると命たちは
「おいしく食べてくれてありがとう」と
思っているかもしれない。

私たちはまほうの言葉を知っている
まほうの言葉がなければ
命たちはおちこむ
だからあたりまえでも
大切にしていこう

給食

六年

一年生のころから給食が嫌いでした。苦手なものばかりが出てきて、低学年のころは残してばかりいました。

学年が上がるごとに苦手な給食はじょじょに減っていききました。低学年のころ苦手だった「かぼちゃの物」も今では大好きな給食です。

今でもやっぱり苦手な給食はありますが、六年生の一年はすぐ終わってしまいそうなので、一つ一つの給食を味わい、調理員さんに感謝して食べようと思っています。

中学校からはお弁当なので、給食を良い思い出で卒業したいです。

給食カレー

六年

調理員さんへ。

ぼくはカレーが好きです。給食でたまにしか出ないカレーが好きです。調理員さんが作る給食のカレーは、二日目のおいしいカレーです。カレーは二日目がおいしいとよく聞きます。調理員さんは一日で二日目みたいにとろっとしたルーでおいしく作り、ぐがやわらかいので給食のカレー一番おいしいです。

前にカレー屋さんにご家族で行った時、その店のノーマルのカレーをたのんで食べてみたら、しゃばしゃばであまりおいしくなかったです。でも味は星三つぐらいのおいしさでした。

そう思うと調理員さんの給食のカレーは世界一だと思いました。これからも給食を作ってください。ぼくは六年なのでもう少ししかカレーが食べられないので悲しいです。

いつもの給食

六年

6年間、学校に来て毎日毎日食べていた給食。なんとなく毎日食べていたけど、よく考えてみたら、毎朝調理員さんは約300人分の給食を作っている。でも私たちは調理員さんのことを全然知らない。

調理員さんは毎日朝から給食を作っている。がんばって作った給食をみんな、牛乳を残したり、きらいなもの、減らしたりしている。それがいつも減らしている。調理員さんも悲しいと思う。だからいつもの給食を変えよう。減らすことを少なくして、いただきます、ごちそうさまを言うこと。それがいつもの給食になったら調理員さんもわたしもうれしい。

いつもの給食を変えるために少しずつ意識しよう。

給食のありがとう

六年

私はこの6年間、毎日のように給食を食べてきました。一度も急に給食がでなかったことはありません。毎日、心をこめて調理員さんが給食を作ってくれていることに感謝の気持ちでいっぱいです。調理員さんありがとう。

私の弟は食物アレルギーがあり、給食を一度も食べたことがありません。私は、アレルギーをがんばって治して、おいしい給食を食べてほしいと思っています。弟には、給食のありがとうございますやみんなと同じ物をいっしょに食べることをうれしさをしってほしいと思います。私にとって給食とは、笑顔をくれる物。元気になれるものだと思います。私はこの6年間で毎日、すばらしい宝物をもらっています。

学校の給食が食べられなくなるのはさみしくなるけれど、給食でおしえてもらったことをわすれずに中学校に行きたいと思っています。

ちよつり員さんへ

六年

わたしは、ふだん外食が多いのでえいよつりのバランスがあまりよくないときがたまにあります。

でもきゅう食を食べることでいつも元気にすごしています。

とてもありがたいです。きゅう食のおかげでしんどい6時間目もやるきがでます。にが手な野菜も少し食べれるようになってうれしかったです。

わたしが一番好きなきゅう食はパンです。きゅう食のパンすっごくもちもちふわふわな食かんですごくおいしいです。

きゅう食は今年が最後のなので少しむびしい気持ちです。

ちよつり員さんわたしたちのためにあついなか、さむいなかきゅう食を作ってくれてありがとうございます。

給食員さんへの感謝の言葉

六年

一年生の春から給食を初めて食べてからもう六年過ぎました。いつもありがとございます。今思い出すとめっちゃくちゃ食べましたなあ。と思っています。その中で一番おいしかったなあと思った食べ物があります。

それは、カレーライスです。いつも給食でカレーが出たときは、いつもおかわりをしていました。どうしたらこの味をだせるんだっていうくらいうまかったなあと思いました。

本当に今までおいしいおいしい給食を作ってくれてありがとうございます。本当に感謝しています。卒業まで後少しですけど、本当にありがとございます。



福井だより

ふくいからみらいへ

校長 吉田 明弘

給食週間の作品を紹介します！

学校給食は明治22年(1910年)から始まりました。その後、昭和25年(1950年)から、1/24~1/30を全国学校給食週間として、学校給食の意義や役割について考える機会としています。

茨木市では、本年度は1/20(月)~1/24(金)を学校給食週間として、さまざまな取り組みを行っています。

福井小学校では、学年ごとに次のことにチャレンジしています。

1年…大型カルタ 2年・3年…ポスター 4年…標語 5年…詩 6年…作文



(詩)

給食

五年

なぜ給食はおいしいのか
みんながんばって勉強しているから
なぜ給食はおいしいのか
調理員さんがいてねいに作ってくれるから
なぜ給食はおいしいのか
みんなで楽しく食べているから

いただきます

五年

いただきます
作った人にありがとう
なくなる命にありがとう

いただきます
色んな人にありがとう

いただきます

すべての人がいうことは

ごちそうさま

あしたのきょうしゅくなんだろーな

(標語)

四年

ありがとう
伝えたかった
この言葉

給食は

みんなを笑顔に
するまほう

ありがとう

感謝の気持ちで
いただきます

楽しみだ

今日のこんだて
なんだろーな

(詩)

五年

うけつがれていくのち
私たちは毎日給食を食べる。
それは、命をいただいている。
牛の命
ぶたの命
魚の命
全ては私たちと同じ
生き物の命
何も罪のない生き物が
次から次へと命をおとす。
その命は
私たちへ受けつがれていく
生き物の命を

「いただきます。」

まほうのことば

五年

私たちはまほうの言葉を知っている
「いただきます」は
命をいただくという事
これを聞いた命たちは
「食べていいよ」と言ってくれる

私たちはまほうの言葉を知っている
「ごちそうさま」は
「ごちそうを
いただきましたという事
感謝して食べると命たちは

「おいしく食べてくれてありがとう」と
思っているかもしれない。

私たちはまほうの言葉を知っている
まほうの言葉がなければ
命たちはおちこむ
だからあたりまえでも
大切にしていこう

給食

六年

一年生のころから給食が嫌いでした。苦手なものばかりが出てきて、低学年のころは残してばかりいました。

学年が上がるごとに苦手な給食はじょじょに減っていききました。低学年のころ苦手だった「かぼちゃの物」も今では大好きな給食です。

今でもやっぱり苦手な給食はありますが、六年生の一年はすぐ終わってしまいそうなので、一つ一つの給食を味わい、調理員さんに感謝して食べようと思っています。

中学校からはお弁当なので、給食を良い思い出で卒業したいです。

給食カレー

六年

調理員さんへ。

ぼくはカレーが好きです。給食でたまにしか出ないカレーが好きです。調理員さんが作る給食のカレーは、二日目のおいしいカレーです。カレーは二日目がおいしいとよく聞きます。調理員さんは一日で二日目みたいにとろっとしたルーでおいしく作り、ぐがやわらかいので給食のカレー一番おいしいです。

前にカレー屋さんにご家族で行った時、その店のノーマルのカレーをたのんで食べてみたら、しゃばしゃばであまりおいしくなかったです。でも味は星三つぐらいのおいしさでした。

そう思うと調理員さんの給食のカレーは世界一だと思いました。これからも給食を作ってください。ぼくは六年なのでもう少ししかカレーが食べられないので悲しいです。

いつもの給食

六年

6年間、学校に来て毎日毎日食べていた給食。なんとなく毎日食べていたけど、よく考えてみたら、毎朝調理員さんは約300人分の給食を作っている。でも私たちは調理員さんのことを全然知らない。

調理員さんは毎日朝から給食を作っている。がんばって作った給食をみんな、牛乳を残したり、きらいなものや減らしたりしている。それがいつももの給食。私もそうだ。きらいなものや減らしている。それが当たり前になってきているのは調理員さんも悲しいと思う。だからいつもの給食を変えよう。減らすことを少なくして、いただきます、ごちそうさまを言うこと。それがいつもの給食になったら調理員さんもわたしもうれしい。

いつもの給食を変えるために少しずつ意識しよう。

給食のありがとう

六年

私はこの6年間、毎日のように給食を食べてきました。一度も急に給食がでなかったことはありません。毎日、心をこめて調理員さんが給食を作ってくれていることに感謝の気持ちでいっぱいです。調理員さんありがとう。

私の弟は食物アレルギーがあり、給食を一度も食べたことがありません。私は、アレルギーをがんばって治して、おいしい給食を食べてほしいと思っています。弟には、給食のありがとうございますやみんなと同じ物をいっしょに食べることをうれしさをしってほしいと思います。私にとって給食とは、笑顔をくれる物。元気になれるものだと思っています。私はこの6年間で毎日、すばらしい宝物をもらっています。

学校の給食が食べられなくなるのはさみしくなるけれど、給食でおしえてもらったことをわすれずに中学校に行きたいと思っています。

ちよつり員さんへ

六年

わたしは、ふだん外食が多いのでえいよつりのバランスがあまりよくないときがたまにあります。

でもきゅう食を食べることでいつも元気にすごせています。

とてもありがたいです。きゅう食のおかげでしんどい6時間目もやるきがでます。にが手な野菜も少し食べれるようになってうれしかったです。

わたしが一番好きなきゅう食はパンです。きゅう食のパンすっごくもちもちふわふわな食かんですごくおいしいです。

きゅう食は今年が最後のなので少しむびしい気持ちです。

ちよつり員さんわたしたちのためにあついなか、さむいなかきゅう食を作ってくれてありがとうございます。

給食員さんへの感謝の言葉

六年

一年生の春から給食を初めて食べてからもう六年過ぎました。いつもありがとございます。今思い出すとめっちゃくちゃ食べてきたなあ。と思っています。その中で一番おいしかったなあと思った食べ物があります。

それは、カレーライスです。いつも給食でカレーが出たときは、いつもおかわりをしていました。どうしたらこの味をだせるんだっていうくらいうまかったなあと思います。

本当に今までおいしいおいしい給食を作ってくれてありがとうございます。本当に感謝しています。卒業まで後少しですけど、本当にありがとございます。



茨木市立福井小学校

令和2年(2020年)2月7日

福井だより

ふくいからみらいへ

校長 吉田 明弘

給食週間の作品を紹介します！

学校給食は明治22年(1910年)から始まりました。その後、昭和25年(1950年)から、1/24~1/30を全国学校給食週間として、学校給食の意義や役割について考える機会としています。

茨木市では、本年度は1/20(月)~1/24(金)を学校給食週間として、さまざまな取り組みを行っています。

福井小学校では、学年ごとに次のことにチャレンジしています。

1年…大型カルタ 2年・3年…ポスター 4年…標語 5年…詩 6年…作文



(詩)

給食

五年

なぜ給食はおいしいのか
みんながんばって勉強しているから
なぜ給食はおいしいのか
調理員さんがいてねいに作ってくれるから
なぜ給食はおいしいのか
みんなで楽しく食べているから

いただきます

五年

いただきます
作った人にありがとう
なくなる命にありがとう

いただきます

色んな人にありがとう

いただきます

すべての人がいうことは

ごちそうさま

あしたのきょうしゅくなんだろうな

(標語)

四年

ありがとう
伝えたかった
この言葉
給食は
みんなを笑顔に
するまほう

ありがとう

感謝の気持ちで
いただきます

楽しみだ

今日のこんだて
なんだろうな

(詩)

五年

うけつがれていくのち
私たちは毎日給食を食べる。
それは、命をいただいている。
牛の命
ぶたの命
魚の命
全ては私たちと同じ
生き物の命
何も罪のない生き物が
次から次へと命をおとす。
その命は
私たちへ受けつがれていく
生き物の命を
「いただきます。」

まほうのことば

五年

私たちはまほうの言葉を知っている
「いただきます」は
命をいただくという事
これを聞いた命たちは
「食べていいよ」と言ってくれる

私たちはまほうの言葉を知っている

「ごちそうさま」は

「ごちそうを

いただきましたという事

感謝して食べると命たちは

「おいしく食べてくれてありがとう」

と思っっているかもしれない。

私たちはまほうの言葉を知っている

まほうの言葉がなければ

命たちはおちこむ

だからあたりまえでも

大切にしていること

給食

六年

一年生のころから給食が嫌いでした。苦手なものばかりが出てきて、低学年のころは残してばかりいました。

学年が上がるごとに苦手な給食はじょじょに減っていききました。低学年のころ苦手だった「かぼちゃの物」も今では大好きな給食です。

今でもやっぱり苦手な給食はありますが、六年生の一年はすぐ終わってしまいそうなので、一つ一つの給食を味わい、調理員さんに感謝して食べようと思っています。

中学校からはお弁当なので、給食を良い思い出で卒業したいです。

給食カレー

六年

調理員さんへ。

ぼくはカレーが好きです。給食でたまにしか出ないカレーが好きです。調理員さんが作る給食のカレーは、二日目のおいしいカレーです。カレーは二日目がおいしいとよく聞きます。調理員さんは一日で二日目みたいにとろっとしたルーでおいしく作り、ぐがやわらかいので給食のカレー一番おいしいです。

前にカレー屋さんにご家族で行った時、その店のノーマルのカレーをたのんで食べてみたら、しゃばしゃばであまりおいしくなかったです。でも味は星三つぐらいのおいしさでした。

そう思うと調理員さんの給食のカレーは世界一だと思いました。これからも給食を作ってください。ぼくは六年なのでもう少ししかカレーが食べられないので悲しいです。

いつもの給食

六年

6年間、学校に来て毎日毎日食べていた給食。なんとなく毎日食べていたけど、よく考えてみたら、毎朝調理員さんは約300人分の給食を作っている。でも私たちは調理員さんのことを全然知らない。

調理員さんは毎日朝から給食を作っている。がんばって作った給食をみんな、牛乳を残したり、きらいなものや減らしたりしている。それがいつももの給食。私もそうだ。きらいなものや減らしている。それが当たり前になってきているのは調理員さんも悲しいと思う。だからいつもの給食を変えよう。減らすことを少なくして、いただきます、ごちそうさまを言うこと。それがいつもの給食になったら調理員さんもわたしもうれしい。

いつもの給食を変えるために少しずつ意識しよう。

給食のありがとう

六年

私はこの6年間、毎日のように給食を食べてきました。一度も急に給食がでなかったことはありません。毎日、心をこめて調理員さんが給食を作ってくれていることに感謝の気持ちでいっぱいです。調理員さんありがとう。

私の弟は食物アレルギーがあり、給食を一度も食べたことがありません。私は、アレルギーをがんばって治して、おいしい給食を食べてほしいと思っています。弟には、給食のありがとうございますやみんなと同じ物をいっしょに食べることをうれしさをいっしょにほしいと思います。私にとって給食とは、笑顔をくれる物。元気になれるものだと思っています。私はこの6年間で毎日、すばらしい宝物をもらっています。

学校の給食が食べられなくなるのはさみしくなるけれど、給食でおしえてもらったことをわすれずに中学校に行きたいと思っています。

ちよつり員さんへ

六年

わたしは、ふだん外食が多いのでえいよつりのバランスがあまりよくないときがたまにあります。

でもきゅう食を食べることでいつも元気にすごしています。

とてもありがたいです。きゅう食のおかげでしんどい6時間目もやるきがでます。にが手な野菜も少し食べれるようになってうれしかったです。

わたしが一番好きなきゅう食はパンです。きゅう食のパンすっごくもちもちふわふわな食かんですごくおいしいです。

きゅう食は今年が最後のなので少しむびしい気持ちです。

ちよつり員さんわたしたちのためにあついなか、さむいなかきゅう食を作ってくれてありがとうございます。

給食員さんへの感謝の言葉

六年

一年生の春から給食を初めて食べてからもう六年過ぎました。いつもありがとございます。今思い出すとめっちゃくちゃ食べてきたなあ。と思っています。その中で一番おいしかったなあと思った食べ物があります。

それは、カレーライスです。いつも給食でカレーが出たときは、いつもおかわりをしていました。どうしてもこの味をだせるんだっていうくらいうまかったなあと思います。

本当に今までおいしいおいしい給食を作ってくれてありがとうございます。本当に感謝しています。卒業まで後少しですけど、本当にありがとございます。



福井だより

ふくいからみらいへ

校長 吉田 明弘

給食週間の作品を紹介します！

学校給食は明治22年(1910年)から始まりました。その後、昭和25年(1950年)から、1/24~1/30を全国学校給食週間として、学校給食の意義や役割について考える機会としています。

茨木市では、本年度は1/20(月)~1/24(金)を学校給食週間として、さまざまな取り組みを行っています。

福井小学校では、学年ごとに次のことにチャレンジしています。

1年…大型カルタ 2年・3年…ポスター 4年…標語 5年…詩 6年…作文



(詩)

給食

五年

なぜ給食はおいしいのか
みんなががんばって勉強しているから
なぜ給食はおいしいのか
調理員さんがいてねいに作ってくれるから
なぜ給食はおいしいのか
みんなで楽しく食べているから

いただきます

五年

いただきます
作った人にありがとう
なくなる命にありがとう

いただきます
色んな人にありがとう

いただきます

すべての人がいうことば
ごちそうさま

あしたのきょうしゅくなんだらうな

(標語)

四年

ありがとう
伝えたかった
この言葉

給食は

みんなを笑顔に
するまほう

ありがとう

感謝の気持ちで
いただきます

楽しみだ

今日のこんだて
なんだらうな

私たちが受けたがれていく
生き物の命を
「いただきます。」

まほうのことば

五年

私たちはまほうの言葉を知っている
「いただきます」は
命をいただくといい事
これを聞いた命たちは
「食べていいよ」と言ってくれる

私たちはまほうの言葉を知っている
「ごちそうさま」は
ごちそうを

いただきましたという事
感謝して食べると命たちは
「おいしく食べてくれてありがとう」と
思っているかもしれない。

私たちはまほうの言葉を知っている
まほうの言葉がなければ
命たちはおちこむ
だからあたりまえでも
大切にしていこう

給食

六年

一年生のころから給食が嫌いでした。苦手なものばかりが出てきて、低学年のころは残してばかりいました。

学年が上がるごとに苦手な給食はじょじょに減っていききました。低学年のころ苦手だった「かぼちゃの物」も今では大好きな給食です。

今でもやっぱり苦手な給食はありますが、六年生の一年はすぐ終わってしまいそうなので、一つ一つの給食を味わい、調理員さんに感謝して食べようと思っています。

中学校からはお弁当なので、給食を良い思い出で卒業したいです。

いつもの給食

六年

6年間、学校に来て毎日毎日食べていた給食。なんとなく毎日食べていたけど、よく考えてみたら、毎朝調理員さんは約300人分の給食を作っている。でも私たちは調理員さんのことを全然知らない。

調理員さんは毎日朝から給食を作っている。がんばって作った給食をみんな、牛乳を残したり、きらいなものや減らしたりしている。それがいなものや減らしている。それが当たり前になってきているのは調理員さんも悲しいと思う。だからいつもの給食を変えよう。減らすことを少なくして、いただきます、ごちそうさまを言うこと。それがいつもの給食になったら調理員さんもわたしもうれしい。

いつもの給食を変えるために少しずつ意識しよう。

給食カレー

六年

調理員さんへ。

ぼくはカレーが好きです。給食でたまにしか出ないカレーが好きです。調理員さんが作る給食のカレーは、二日目のおいしいカレーです。カレーは二日目がおいしいとよく聞きます。調理員さんは一日で二日目みたいにとろっとしたルーでおいしく作り、ぐがやわらかいので給食のカレー一番おいしいです。

前にカレー屋さんにご家族で行った時、その店のノーマルのカレーをたのんで食べてみたら、しゃばしゃばであまりおいしくなかったです。でも味は星三つぐらいのおいしさでした。

そう思うと調理員さんの給食のカレーは世界一だと思いました。これからも給食を作ってください。ぼくは六年なのでもう少ししかカレーが食べられないので悲しいです。

ちよつり員さんへ

六年

わたしは、ふだん外食が多いのでえいよつりのバランスがあまりよくないときがたまにあります。

でもきゅう食を食べることでいつも元気にすごしています。

とてもありがたいです。きゅう食のおかげでしんどい6時間目もやるきがでます。にが手な野菜も少し食べられるようになってうれしかったです。

わたしが一番好きなきゅう食はパンです。きゅう食のパンすっごくもちもちふわふわな食かんですごくおいしいです。

きゅう食は今年が最後のなので少しむびしい気持ちです。

ちよつり員さんわたしたちのためにあついなか、さむいなかきゅう食を作ってくれてありがとうございます。

給食のありがとう

六年

私はこの6年間、毎日のように給食を食べてきました。一度も急に給食がでなかったことはありません。毎日、心をこめて調理員さんが給食を作ってくれていることに感謝の気持ちでいっぱいです。調理員さんありがとう。

私の弟は食物アレルギーがあり、給食を一度も食べたことがありません。私は、アレルギーをがんばって治して、おいしい給食を食べてほしいと思っています。弟には、給食のありがとうございますやみんなと同じ物をいっしょに食べることをうれしさをもってほしいと思います。私にとって給食とは、笑顔をくれる物。元気になれるものだと思います。私はこの6年間で毎日、すばらしい宝物をもらっています。

学校の給食が食べられなくなるのはさみしくなるけれど、給食でおしえてもらったことをわすれずに中学校に行きたいと思っています。

給食員さんへの感謝の言葉

六年

一年生の春から給食を初めて食べてからもう六年過ぎました。いつもありがとうございます。今思い出すところめちゃくちゃ食べましたなあ。と思うています。その中で一番おいしかったなあと思った食べ物があります。

それは、カレーライスです。いつも給食でカレーが出たときは、いつもおかわりをしていました。どうしたらこの味をだせるんだっていうくらいうまかったなあと思います。

本当に今までおいしいおいしい給食を作ってくれてありがとうございます。本当に感謝しています。卒業まで後少しですけど、本当にありがとうございます。